



取扱説明書

1/6

№.

型 式

AFD $\frac{2}{3}$ - $\frac{01}{504}$ - 4



の製品をご採用いただきましてありがとうございました。



製品は全て厳しい品質管理のもとで製造されています。

安心してご使用ください。



の製品をより永く効果的にご使用いただくために取付及び保守上の注意事項をこの小冊子にとりまとめています。

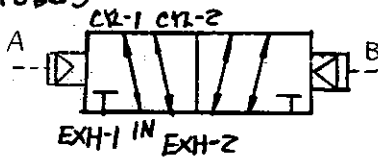


作 動 要 領

パイロット信号 A---ON, IN $\rightleftharpoons$ CYL-1 / CYL-2 $\rightleftharpoons$ EXH-2 EXH-1 / ---- 止

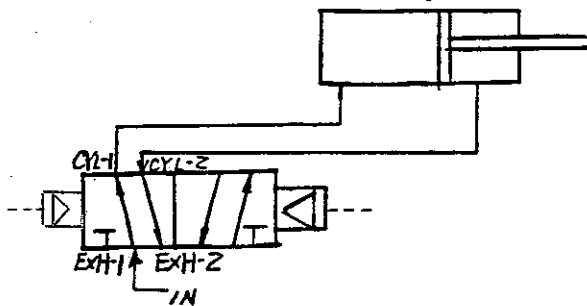
パイロット信号 B---ON, IN $\rightleftharpoons$ CYL-2 / CYL-1 $\rightleftharpoons$ EXH-1 / EXH-2 ---- 止

JIS記号

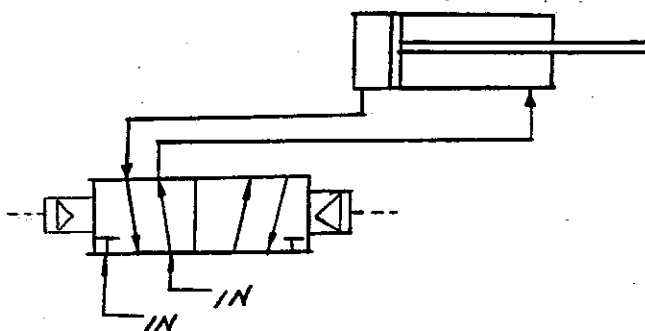


使 用 例

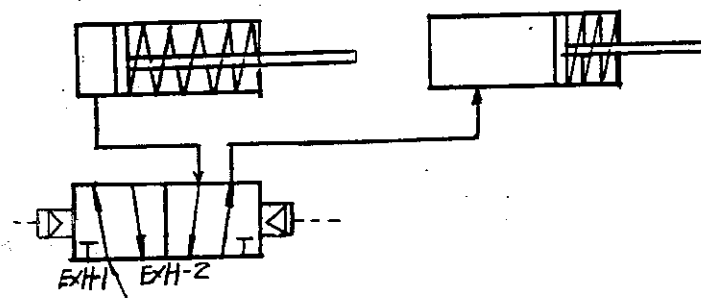
1 両側加圧シリンダーを操作する場合



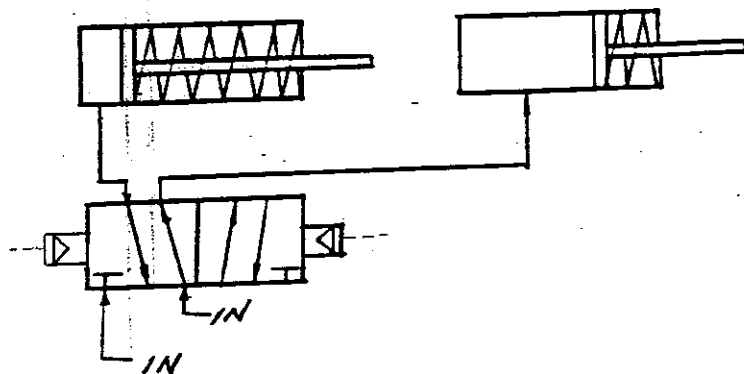
2 2ヶ所の排気ポートよりそれぞれ異つた圧力を入れた場合両側加圧シリンダーに於いて往復の各出口を故意に変えたり又は同一にすることが出来ます。



3 3Wayとして片側シリンダーを交互にあるいはどちらかのシリンダー/ケを操作する場合。



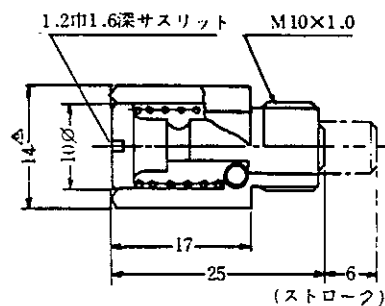
4. 3.W a yとして2ヶ所の排気ポートよりそれぞれ異つた圧力を給気し、片側が圧力シリンダーを交互に操作し各シリンダーの圧力を変えたい場合。



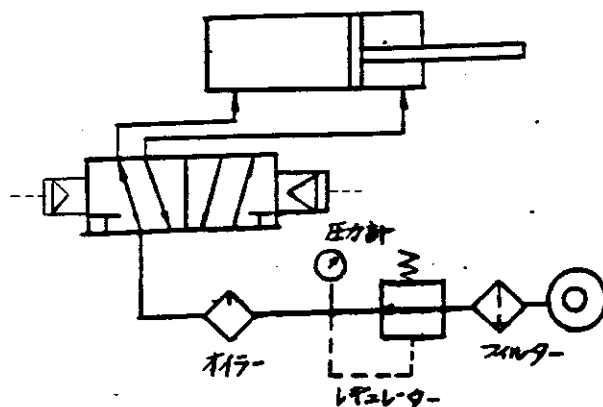
5. その他

1. このバルブは2位置弁なるためニュートラルの位置は有りません。
2. シリンダーのスピードコントロールが必要な時は排気側にメタリング（ニードル型式のもの）バルブを接続してください。
3. エア-の信号による作動のほか、パイロット本体に付いている ゴムプッシュユの上より、ロッド等で押し、手にて作動させることも出来ます。
4. 手動装置

手動切換の付属標準部品として別売しております。各機種兼用で、パイロット本体のキャップ穴にネジ込み取付られます。内部の摺動ロッドを⊖ドライバーで押し込んだ状態で半回転することにより、弁位置をロックすることが出来ます。

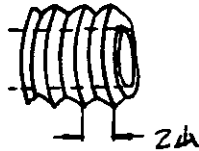


配 管 , 取 付



1 バルブを取付ける前に管路内は出来るだけ清掃してください。

① ゴミ、バリをよく取除いてください。(バルブ取付時汚染防止を行ってください)



② ネジ2山まではシール剤を付けぬ様にしてください。

2 弁前にはフィルター及びオイルーを取付けること。シリコンオイル使用の場合で粘度の値が低い場合は
(5ミクロン程度以内) はフィルタを用いたバルブを取付けること。
油はタービン油#90を使用してください。(スロトル油マシン油は使用しないでください。)

3 取付姿勢はスプール(ピストン関係)と取付面が水平になること。

4 取付時、バルブに無理な力を加えないようにしてください。

5 取付場所は出来るだけ振動、衝撃の少ない場所に取付けてください。

6 配管後、各部からの漏れがないかチェックを行ってください。

7 保守の際に工具が使用出来るスペースを考慮してください。

8 フィルタのドレンは定期的に点検し抜きとるようにして下さい。

維持管理

(A) 分解

1 バルブ本体の分解

① バイレット弁本体を取り外す。

② キャップを外し、バネを取り出す。

③ スプールを抜き取る。

④ スリーブを抜き取る。

⑤ 図面参照のこと。(F4-804995)

2 注意事項

① スプールを抜き取り長く空気中に放置しないでください。

- ② スリーブ，スプールを抜き取る場合、素手にてふれないでゴム手袋等をはめて抜いてください。
(素手にてふれたところから腐蝕する)
- ③ スリーブに付いてはなるべく取り外さない様にしてください。
(O-Ring が切れる)
- ④ 組立てる時はピストン外面及びスリーブの内面にゴミ類を付けない様よく洗浄した上で組立ててください。
- ⑤ キャップおよびバレット本体はかたく止めてください。
(特に高頻度にて使用の時は外れ易い)
- ⑥ 付属箱に添付しているが屋外で使用する場合は直接雨、水滴等が入らない方に考慮してください。
- ⑦ 同梱物用紙が添付されている場合は併せて併用してください。
- ⑧ 長期放置した場合は始動時予動作確認してください。
- ⑨ 運転終了時には必ずエア源を止め、エア抜きドレン抜きを行ってください。